

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の結果について

1 調査の趣旨

本調査は、児童生徒の問題行動・不登校等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組の一層の充実に資するとともに、本調査を通じて実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていくものとする。

2 調査対象期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

3 調査対象

(1) 調査対象学校数及び児童生徒数（高知県）

| | 国・公・私立学校 |
|-------------------|-------------------|
| 小学校 (義務教育学校前期) | 194 校 32,554 人 |
| 中学校 (義務教育学校後期) | 115 校 17,301 人 |
| 高等学校 | 46 校 18,602 人 |
| 特別支援学校 | 16 校 881 人 |
| 合計 | 371 校 69,338 人 |

※高知工業高等専門学校及び専攻科在籍生徒を除く

(2) 校種別調査対象項目

| | 暴力行為 | いじめ | 不登校 | 中途退学 |
|--------|------|-----|-----|------|
| 小学校 | ○ | ○ | ○ | |
| 中学校 | ○ | ○ | ○ | |
| 高等学校 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 特別支援学校 | | ○ | | |

4 調査結果の概要

(1) 暴力行為

本県の国公立学校における暴力行為は744件であり、平成30年度と比較すると7件増加している。校種別では、小学校と高等学校ではほぼ増減がなく、中学校で増加している。

1,000人当たりの暴力行為の発生件数は10.9件であり、平成30年度と比較すると0.4ポイントの増加となった。

① 暴力行為の発生件数【国公立学校】

(単位：件)

| 校種 種別 | 小学校 | | | 中学校 | | | 高等学校 | | | 合計 | | |
|----------------|------|-----|-----------|------|-----|-----------|------|----|-----------|------|------|-----------|
| | 発生件数 | | 前年度 比較 | 発生件数 | | 前年度 比較 | 発生件数 | | 前年度 比較 | 発生件数 | | 前年度 比較 |
| | H30 | R1 | | H30 | R1 | | H30 | R1 | | H30 | R1 | |
| 対教師暴力 | 82 | 57 | -25 | 26 | 25 | -1 | 1 | 5 | +4 | 109 | 87 | -22 |
| 生徒間暴力 | 269 | 306 | +37 | 192 | 197 | +5 | 28 | 30 | +2 | 489 | 533 | +44 |
| 対人暴力 | 4 | 3 | -1 | 0 | 12 | +12 | 2 | 0 | -2 | 6 | 15 | +9 |
| 器物損壊 | 65 | 53 | -12 | 45 | 37 | -8 | 23 | 19 | -4 | 133 | 109 | -24 |
| 計 | 420 | 419 | -1 | 263 | 271 | +8 | 54 | 54 | 0 | 737 | 744 | +7 |
| 1,000人当たりの発生件数 | | | | | | | | | | 10.5 | 10.9 | +0.4 |

② 1,000人当たりの暴力行為の発生件数【国公立学校】

(単位：件)

| | 高知県 | 全国 |
|-------|------|------|
| H30 | 10.5 | 5.5 |
| R1 | 10.9 | 6.1 |
| 前年度比較 | +0.4 | +0.6 |

(2) いじめ (※高等学校については、全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として扱う)

本県の国公立学校におけるいじめの認知件数は3,855件であり、平成30年度と比較すると429件増加している。

1,000人当たりのいじめの認知件数は55.6件であり、平成30年度と比較すると7.3ポイントの増加となった。

いじめ発見のきっかけは、「アンケート調査など学校の取組により発見」が最も多くなっている。

いじめの現在の状況は、「解消しているもの(日常的に観察継続中)」が75.8%であった。

① いじめの認知件数【国公立学校】

(単位:件)

| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | 合 計 | |
|-------|--------------|------------|------------|-----------|--------------|----------------|
| | 認知件数 | 認知件数 | 認知件数 | 認知件数 | 認知件数 | 1,000人当たりの認知件数 |
| H30 | 2,328 | 717 | 346 | 35 | 3,426 | 48.3 |
| R1 | 2,645 | 781 | 376 | 53 | 3,855 | 55.6 |
| 前年度比較 | +317 | +64 | +30 | +18 | +429 | +7.3 |

② 1,000人当たりのいじめの認知件数【国公立学校】

(単位:件)

| | 高知県 | 全国 |
|-------|-------------|-------------|
| H30 | 48.3 | 40.9 |
| R1 | 55.6 | 46.5 |
| 前年度比較 | +7.3 | +5.6 |

③ いじめ発見のきっかけ【国公立学校】 (上位3項目)

「アンケート調査など学校の取組により発見」(32.3%)

「学級担任が発見」(24.5%)

「本人からの訴え」(19.4%)

④ いじめの現在の状況【国公立学校】

| 解消しているもの (日常的に観察継続中) | | 解消に向けて 取組中 | | その他 | | 計 |
|-------------------------|-------|---------------|-------|-----|-----|-------|
| (件) | 割合(%) | (件) | 割合(%) | (件) | 割合% | (件) |
| 2,923 | 75.8 | 925 | 24.0 | 7 | 0.2 | 3,855 |

(3) 不登校（小中学校）

本県の国公立小中学校における不登校児童生徒数は1,117人であり、平成30年度と比較すると58人増加している。

1,000人当たりの不登校児童生徒数は22.4人であり、平成30年度と比較すると1.5ポイントの増加となった。

① 不登校児童生徒数【国公立学校】

(単位：人)

| 年度 | 小学校 | | 中学校 | | 合計 | |
|-----------|------------|------------------|------------|------------------|--------------|--------------------|
| | 不登校児童数 | 1,000人当たりの不登校児童数 | 不登校生徒数 | 1,000人当たりの不登校生徒数 | 不登校児童生徒数 | 1,000人当たりの不登校児童生徒数 |
| H30 | 275 | 8.3 | 784 | 44.8 | 1,059 | 20.9 |
| R1 | 334 | 10.3 | 783 | 45.3 | 1,117 | 22.4 |
| 前年度比較 | +59 | +2.0 | -1 | +0.5 | +58 | +1.5 |

② 1,000人当たりの不登校児童生徒数【国公立学校】

(単位：人)

| 年度 | 小学校 | | 中学校 | | 合計 | |
|-----------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 高知県 | 全国 | 高知県 | 全国 | 高知県 | 全国 |
| H30 | 8.3 | 7.0 | 44.8 | 36.5 | 20.9 | 16.9 |
| R1 | 10.3 | 8.3 | 45.3 | 39.4 | 22.4 | 18.8 |
| 前年度比較 | +2.0 | +1.3 | +0.5 | +2.9 | +1.5 | +1.9 |

(4) 不登校（高等学校）

本県の国公私立高等学校における不登校生徒数は353人であり、平成30年度より33人増加している。1,000人当たりの不登校生徒数は19.6人であり、平成30年度と比較すると2.5ポイント増加している。

① 不登校生徒数【国公私立学校】 (単位：人)

| 年度 | 不登校生徒数 | 1,000人当たりの不登校生徒数 |
|-----------|------------|------------------|
| H30 | 320 | 17.1 |
| R1 | 353 | 19.6 |
| 前年度比較 | +33 | +2.5 |

② 1,000人当たりの不登校生徒数【国公私立学校】 (単位：人)

| 年度 | 高知県 | 全国 |
|-----------|-------------|-------------|
| H30 | 17.1 | 16.3 |
| R1 | 19.6 | 15.8 |
| 前年度比較 | +2.5 | -0.5 |

(5) 中途退学

本県の国公私立高等学校における中途退学者数は271人で、平成30年度より63人減少した。中途退学率は1.5%であり、平成30年度と比較すると0.2ポイント減少した。

中途退学に至る主たる理由は、高い順に「学校生活・学業不適應」、「進路変更」、「学業不振」となっている。

① 中途退学者数・中途退学率【国公私立学校】

| | 退学者数 | 中途退学率 (%) |
|-----------|------------|--------------|
| H30 | 334 | 1.7 |
| R1 | 271 | 1.5 |
| 前年度比較 | -63 | -0.2 |

② 中途退学率【国公私立学校】 (単位：%)

| | 高知県 | 全国 |
|-----------|------------|------------|
| H30 | 1.7 | 1.4 |
| R1 | 1.5 | 1.3 |
| 前年度比較 | -0.2 | -0.1 |

③ 中途退学の理由【国公私立学校】 (上位3項目)

「学校生活・学業不適應」(38.0%)

「進路変更」(29.5%)

「学業不振」(7.4%)

5 今後の取組（公立学校）

高知県教育委員会では、児童生徒の問題行動や不登校等の生徒指導上の諸課題の改善に向け、「未然防止」「初期対応」「個別・自立支援」の3つの観点で様々な取組を進めている。今回の調査を通して明らかとなった課題等を踏まえ、今後さらに取組の充実を図っていく。

「未然防止」の観点では、児童生徒にとって学校という場所が居心地がよく、安心・安全な場所でなければならない。そのため、いじめや不登校が生じにくい学級・学校づくりに向け、開発的・予防的生徒指導を組織的に実践する「高知夢いっぱいプロジェクト推進事業」を進めており、その成果を普及するための研究発表会を順次開催していく。

また、いじめ予防に向けては、高知県教育委員会において令和2年3月発行の「『高知家』いじめ予防等プログラム」を活用し、校内研修やいじめに関する授業実施の徹底、さらには保護者・地域への啓発など、県民総ぐるみの取組を進めていく。

「初期対応」の観点では、児童生徒の些細な変化に気づき、早期発見・早期対応の取組が重要となる。そこで、不登校の改善が望まれる小中学校20校に対して、本年度から不登校担当教員を配置するとともに、その他の小中学校においても不登校担当者を学校ごとに位置づけ、児童生徒の情報収集や関係機関との調整など組織体制の強化を図ってきた。この配置20校では、長期欠席者の発生率が抑制されるなどの効果も見られており、成果のあった取組を県全体に広げていく。

また、本年度から本格的に運用開始した「統合型校務支援システム」を活用し、児童生徒の出欠状況や気づき情報を学校全体で共有し、組織的に早期の対応が図られるよう、まずは、各学校において校務支援システムの活用を徹底していく。

「個別・自立支援」の観点では、学校に配置しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を促進して校内支援会を充実させるとともに、本年度から心の教育センターの日曜日開所や県東部・西部での相談活動の実施など、相談機能を強化してきた。日曜日開所によって、利用のしやすさなどの肯定的評価や相談件数の増加などの成果が見られるため、土曜日開所の試行など、相談機能のさらなる充実を図っていく。

また、不登校児童生徒の学校以外の学び場として、市町村が設置する教育支援センターの学習指導の在り方を研究するため、高知県教育センターから遠隔授業を試行するなど、市町村の教育支援センターの支援力の向上を図っていく。

以上のような取組の充実と徹底を図り、市町村教育委員会及び各学校との連携を深めながら、確実な教育実践を積み重ねることで、本県の生徒指導上の諸課題の改善を目指していく。